



吉本みづる県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

内房線のダイヤ改正 千葉～館山間に 快速列車運行!

県「観光流動の創造」を提起



地元の声を力強く訴える吉本県議

議会の要である議運の委員長を務めるなど、県議会の中心的存在となっている富津市選出の吉本充(よしもと・みつる)県議は、任期最後の2月定例議会の予算委員会に登壇し、内房線のダイヤ改正などに対し、地域の要望をしっかりと県政に伝えました。JR東日本のダイヤ改正で、特急列車が君津止まりになる代わり、東京～館山間に「特別快速」が運行されることになり、通勤・通学を含めて快速の増便など市民にとっての利便性向上を強く訴えました。

吉本委員 今回の内房線のダイヤ改正は、特急は君津止まりになるなど、鉄道の利便性の低下を招く内容でしたが、今後の利便性の維持・確保について、

県はどのように認識しているのか。

総合企画部長 今回、特急が削られた地域では、鉄道路利用者の減少に歯止めがかからないと聞いていることから、地域活性化の観点からも、例えば、住民による大幅な利用増が見込めないならば、来る方を増やすことで鉄道利用者を増やすような取り組みを、JRや地元自治体と考える必要があると認識しています。

先日、知事がJR東日本の富田社長と会談した際も、地域の活性化に向けて、JR東日本の経営戦略の柱である観光流動の創造をはじめ、力を合わせて取り組んでいくことで一致したところです。

吉本委員 鉄道利用者の利便性を向上させるため、千葉～館山間に新たに快速列車の運行を実現させるべきと思うが、県はどのように考えているのか。

交通計画課長 快速列車を館山駅まで延伸することについて、すでに県と市町村等で構成するJR線複線化等促進期成同盟において、毎年、JR東日本に対して粘り強く要望しているところ

ろです。

委員からご示唆のあった、今回のJR東日本のダイヤ改正において、東京～館山間に「特別快速」を新設し、都心と南房総エリアとの新たな直通サービスを開始することになっています。

要望 平日特別快速を1本走らせるのではなく、土日祝日もつと

さざなみを増発するよう要望してもらいたいのと、平日は東京止まりの快速を走らせるより、通勤・通学を含めて、朝館山から千葉行きの上り快速を1本、夕方千葉～館山行きの下り快速を1本走らせることを要望する方が、利便性の向上と利用する県民サービスに資すると思います。

栽培漁業の推進で 新規魚種を導入へ

吉本委員 栽培漁業の推進に向け、第7次栽培漁業計画では、どのような取り組みを行っていくのか。

農林水産部長 県では現在、第7次栽培漁業基本計画を策定中で、この中で栽培漁業のより層の推進を図るため「収益力の向上につながる新規魚種の導入」と「より効果・要望のある魚種放流の重点化」を柱として取り組んでまいりたいと考えています。

具体的には、新たにトラフグについては、どのように取り組んでいくのか。

要望 千葉県は、育成技術の習熟を図りながら、放流魚の成長、移動・分散、漁獲状況などを調べるため、標識放流等

放流で水揚げ6億増

吉本委員 新規魚種のトラフグについては、どのように取り組んでいくのか。

漁業資源課長 新規魚種

により放流効果調査を行います。その結果を踏まえ、本格的な種苗生産と放流につなげたいと考えています。

吉本委員 これまで放流してきたマダイやヒラメ、アワビなど放流効果はどうか。

漁業資源課長 放流効果については、年間の漁獲増加量として、マダイ83トン、ヒラメ66トン、アワビ52トンで、3魚種合計の年間増加量は約200トンです。水揚げ金額では約6億円の増加と推定され、大いに役立っていると考えています。

●県政と富津市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

吉本 充 県議事務所 TEL.0439-80-1885

〒293-0006 富津市下飯野1114-2

情報の過疎地域解消を訴え!



予算委の自席から地域の課題を訴える吉本県議

携帯の電波が届かない

吉本委員 情報の過疎地域解消について、伺います。私の地元の話ですが、昨年2月の大雪の折、降雪から3日経つても電気が来ないので、日常生活に大変困っている、何とかしてほしいとの要望がありました。

停電のため固定電話は使えず、携帯電話も電波が届かずどこにも連絡できないとのことでした。これだけ情報ネットワークが発達しているのに、エアポケットのように空白地域が存在するのです。県内で携帯電話の利用できない地域について、県として把握しているのか。

政策企画課長 携帯電話は、県内のほとんどの居住地で、少なくともいずれかの事業者の携帯電話が利用できる状況にあります。が、山間部などごく一部の地域では、利用できない状況もあります。

吉本委員 携帯電話の利用できない地域について、どのような支援策が講じられているのか。

政策企画課長 国においては、携帯電話が利用できない、地理的に不利な地域を対象として、市町村による携帯電話の基地局の整備や、事業者による施設の整備に対する補助制度が設けられています。

1人でも放課後児童クラブ

吉本委員 子育て支援の観点から、小規模な放課後児童クラブについて、県ではどのように支援しているのか、伺います。

健康福祉部長 県では、児童数19人以下で国庫補助事業の対象にならない小規模な放課後児童クラブに対し、登録児童数や開所日数に応じて運営費の一部を助成しており、今後も引き続きクラブへの支援を実施してまいります。

吉本委員 19人以下のクラブへ補助しているとのことですが、1人でも該当するのでしょうか。

児童家庭課長 開所日数が200日以上となりますが、1人以上を対象としています。

お知らせ

吉本充県議の一般質問並びに予算委員会での質疑の模様は、県議会のホームページから「インターネット中継(録画)」で3年間の質疑がすべてご覧になれます。

豊かな情操教育のために

吉本委員 超党派による千葉県議会芸術文化振興議員連盟で、私は幹事長を務めています。当議連では、毎年、知事並びに教育長に芸術文化振興予算の要望書を提出しており、その中にニューフィル千葉に対する支援についても要望を行ってまいりました。

合わせて、議連としても各会派に働きかけ、会員登録を推進するほか、毎年1回、12月定例会において、ミニコンサートを開催するなど、県民のオーケストラであるニューフィル千葉の支援を図っているところです。

そこで伺います。最近のニューフィル千葉への支援状況はどうか。

県民生活・文化課長 平成27年度当初予算案におけるニューフィル千葉関連事業の予算額は、運営費補助で2662万6千円、学校における芸術鑑賞事業で2663万円など、総額で6906万5千円となっております。この数年は同額で推移しています。

生の音楽鑑賞で感動

吉本委員 児童生徒を対象とした公演等を支援している学校における芸術鑑賞事業が平成27年度は、実施校で50校と聞いています。ピーク時の平成22年ごろは150校を1年間で実施したと聞いています。

情操教育の一環として、豊かな心を育むために、優れた演奏に触れる効果は言うまでもありません。学校現場では、演奏を申し込んでも、補助枠がないと言われるとの声をよく聞きます。予算が減額されたことが原因では、本末転倒の話です。

より多くの子どもたちに、

要望 費の中、学校での定期コンサートは、今後増やしていく努力をぜひ検討してほしい、と強く要望します。

ニューフィル千葉への支援を要請



手を挙げて発言を求める吉本県議